

## 空き家の再利用

### 考えてみませんか？

眠っている資源を活用して地域に元気を！

市内の各地で、人口の減少・流出により空き家が増加してきています。人が住まなくなった家の劣化は想像以上に早く進行し、1年も放置しておくで大規模な修繕が必要となり、再生も困難な状態となつてしまします。その一方、都市部に住んでいる人の中には、自然に囲まれて暮らせる地方への移住や定住、2地域居住などを考える人が増加傾向にあるとともに、原発事故の影響で福島県から空き家を探している方の相談も数件あります。

このような状況を踏まえ、市では空き家の利活用による地域の活性化に取り組んでいます。具体的には、本市への移住を希望される方に窓口等での情報提供を行い、条件に合う空き家物件があれば現地を案内し、所有（管理）者との橋渡しを行うというものです。

ここでいう「空き家」とは、貸家（アパートや賃貸マンション等）を目的としたものでなく、常住する者がいない住宅（住宅以外の建物であつて、住宅に改造するものを含む）を

いいます。

また茨城県や県北地域の7市町、民間企業が出捐して組織する財団法人グリーンふるさと振興機構とも連携・情報共有し、県北地域に都市部住人の多くを受け入れています。

価値観が多様化している現在だからこそ、一方では不要なものも、もう一方では必要なものになり得る場合も十分考えられます。

空き家の取り扱いにお困りの方は、ぜひ一度ご相談ください。



## 空き家を活用するための各種補助制度

### □ ■ ■ ■ 市の助成事業 □ ■ ■ ■

※対象となる地域は、大宮地域の一部（東野、上大賀、岩崎、辰ノ口、三美、西塩子、北塩子、照田）及び山方・美和・緒川・御前山地域の全部です。

#### 空き家改修費補助金（上限50万円）

空き家を賃借または購入し、機能及び環境向上のために修繕した場合に交付。

交付対象者：借主または買主

#### 移住促進協力謝礼金（5万円）

空き家を市外からの転入者に賃貸または売買した場合に交付。

交付対象者：貸主または売主

### □ ■ ■ ■ (財) グリーンふるさと振興機構の助成事業 □ ■ ■ ■

※対象となる地域は、大宮・山方・美和・緒川・御前山地域の全部です。

#### “いばらきさとやま生活” 田舎暮らし空き家賃貸に伴う環境整備（上限20万円）

空き家内に残る家財の整理や清掃のほか、障子やふすまの張り替え等の経費。

これらの助成事業は1回限りの交付となります。

また、物件の損傷の程度等により取り扱いをご遠慮させていただく場合もありますのでご了承ください。

### ◆ 問い合わせ ◆ 市民協働課 地域づくり支援グループ

☎52-1111（内線126・127） E-mail：kyodo@city.hitachiomiya.lg.jp

財団法人 グリーンふるさと振興機構

☎0294-72-2266 E-mail：admingreen@greenful.jp

実際に

長谷川浩美さんにインタビュー

## 移住された方の声

長谷川さんは、平成22年度に常陸大宮市下檜沢の空き家を購入し移住されました。



### Q1 お仕事は何をされていますか？

A1 移住地にて飲食業を営んでいます。夫婦二人で営む小さなレストランです。

### Q2 常陸大宮市への移住を考えたきっかけは？

A2 以前から「田舎暮らし」をしたかったため、時間をかけて物件を探していましたが、ここは、都心部に比較的近い割には、想像以上に里山の風景が見て取れたことと、物件を紹介してくださった方が、親身になって移住後の生活プラン等のアドバイスをしてくださったこと、地域の方々にも快く接していただいたおかげで、この地で暮らす気持ちになりました。

### Q3 実際に住んでみてどうですか？

A3 多少の不便さはあるものの、都市部と違い、夜の静けさのなか眠りにつき、小鳥のさえずりで目を覚ます毎日。四季の移り変わりが感じられ、自然の営みの素晴らしさを実感していますし、毎日やることが多く、充実した田舎暮らしを楽しんでいます。

### Q4 毎日の生活パターンを教えてください。

A4 夜明けと共に起床して、予約がある場合は仕込みに入り、無い場合は家の手直しや、庭木の手入れ、裏の畑での野菜作りをして一日を楽しく過ごしています。

### Q5 これから移住を考えている方へのアドバイスをお願いします。

A5 目的をもって移り住むことは大切ですが、考え過ぎても次の一步が踏み出せなくなります。ある程度希望や条件が整ったら、決断し実行することをお勧めします。

—ご協力ありがとうございました。—

平成22年度には5組12の方が移住されました

山方地域 2組 5人 美和地域 3組 7人

※市または(財)グリーンふるさと振興機構を通して、空き家を利活用して移住された方々